

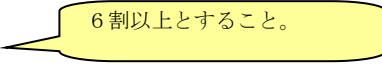
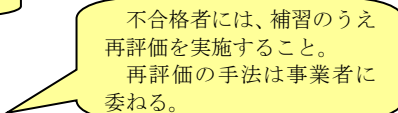
修了評価の方法

評価基準作成者： 田原 砂智子

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 科目「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 五肢択一形式及び記述形式とする。</p> <p>3 出題数 択一式問題 15 問 (配点 5 点)、記述式問題 5 問 (配点 1 点×25) 全問正解：100 点満点</p> <p>4 合否判定基準 70 点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、一両日中に補習を規定時間分受講した後に再評価を受けることができる。再評価費用：1000 円 <p>(補習規定時間と補習費用について)</p> <p>補習規定時間 • 69 点～40 点：1 時間 (必須) ※2 時間まで可 • 39 点以下 : 2 時間 (必須)</p> <p>補習費用 1 時間につき 2000 円</p> <ul style="list-style-type: none">再評価試験の回数は最大 3 回までとする。なお、3 回目で不合格となった場合は、未修了扱いとなる。
------------	---

修了評価の方法

評価基準作成者：

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。〇〇テキスト〇ページから〇ページまでの間で出題する。 等々 <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式及び記述形式とする。 等々</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">択一問題〇問(配点〇点)、記述式問題〇問(配点〇点) 全問正解：〇点満点「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から〇問 等々 <p>4 合否判定基準</p> <p>〇点以上 </p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、直ちに〇時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は〇点以上とする。 補習料：1時間あたり〇円 再評価料〇円再試験を最大〇回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には・・・ 再試験料：1回あたり〇円不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い・・・ 等々 
------------	---